令和８年度第１回「ぎょさい・積立ぷらす」北海道推進協議会

令和8年度はぎょさい1,850億円、積立ぷらす189億円を加入目標に

加入率目標　ぎょさい90%、積立ぷらす86%に設定

「ぎょさいと積立ぷらす」の普遍的な加入と定着、未加入の解消を図るため、道庁及び在札系統団体の漁連・信漁連・基金協会道支所・共水連道事務所・共済組合で構成する「ぎょさい・積立ぷらす」北海道推進協議会の第一回会議が九月四日、札幌市第二水産ビル五階の共水連会議室で開催されました。会議では、坂本道水産林務部水産経営課長を新座長に選出し、令和五年度から七年度の運動結果を報告、地区別漁種別の「マーケットとぎょさい・積立ぷらすの加入率」と、過去の運動結果を踏まえ、令和八年度は補償額でぎょさい（漁獲＋特定養殖）一千八百五十億円、積立ぷらす百八十九億円、ぎょさい（定置漁具）九十四億円を目標に推進活動を実施する方針を確認しました。

議事では、令和五年度から七年度の推進運動成果等を説明し、漁業収入安定対策事業（ぎょさい掛金追加補助＋積立ぷらす）を活用し加入推進を行った結果、複数の漁協・漁種で新規加入が実現し、令和七年度のマーケットに対する加入率は、ぎょさい（漁獲＋特定養殖）八十八%、積立ぷらす八十六%となり、加入は着実に増加しているものの、加入率の低い漁種がいまだに存在し、定置漁具についても、依然加入率が低い状況であること等、現状の課題等が報告されました

令和八年度の推進方策

水産基本計画において重要な施策の一つとして位置づけられている「漁業収入安定対策事業」を引続き活用すると共に、令和八年度より新たに三年を区切りとして運動を展開するにあたり、未加入となっている漁業等の水揚状況や実態把握に努め、未加入の主要漁業・養殖業の推進活動を展開するため、「ぎょさい・積立ぷらす」北海道推進協議会と充分に連携を図りながら、漁業経営を守る役割を充分発揮出来るよう、「ぎょさい」「積立ぷらす」の一層の浸透・定着を目指すこととしました。

本年度の共済組合の事業計画における重点推進項目は、①継続契約における補償内容の充実（積立ぷらすとのセット加入）、②未加入となっている主要漁業・養殖業の解消、③定置漁具（漁業施設共済）の加入拡大の三点であり、制度・事業への一層の理解を得るための方策、推進上の具体的な課題等について協議し、出席委員との意見交換、情報の共有を図ることが出来ました。



▲今年度委員に就任した座長の坂本水産経営課長

「ぎょさい・積立ぷらす」北海道推進協議会　委員名簿（令和8年9月～）

所属	役職名	氏名
北海道水産林務部	水産経営課長	坂本達彦
北海道漁業協同組合連合会	代表理事専務	瀧波憲二
北海道信用漁業協同組合連合会	代表理事常務	小林洋
基金協会北海道支所	運営副委員長	河内山勉
共水連北海道事務所	所長代理	畠山尚貴
北海道漁業共済組合	専務理事	小林重雄

推進協議会　委員の皆様



▲共水連北海道事務所 畠山所長代理　▲基金協会道支所 河内山 運営副委員長　▲信漁連 小林常務　▲漁連 瀧波専務

令和八年度上半期、大宗漁業・養殖業の加入（速報値）がまとまる
～「ほたて貝等養殖業」で加入実績大幅増加～

本年度は依然として続く海洋環境の変化に伴う生産量の減少に加え、国際情勢の悪化とインフレ・円安による燃油・資材価格の高騰、線状降水帯の発生による異常気象等、極めて厳しい漁業環境下での推進となりましたが、上半期の大宗漁業である「さんま棒受網漁業」、「秋さけ定置漁業」、噴火湾地域等の「ほたて貝等養殖業」のぎょさい・積立ぷらす並びに「漁業施設（秋さけ定置漁具）」のぎょさい加入実績がまとまりました。



【さんま棒受網漁業】

前年度の漁獲数量・金額増加等による補償水準（共済限度額）の上昇がありましたが、休廃業等に伴う減少により、全道合計ではぎょさい（共済金額・以下同じ）で前年度より一億二千万円減の四十二億九千六百万円、積立ぷらす（漁業者積立金額・以下同じ）で四百万円減の九千一百万円の実績となりました。

【秋さけ定置漁業】

近年の来遊不振の影響による補償水準の低下や休廃業等に伴う減少により、全道合計ではぎょさいで前年度より十九億九千七百万円減少し、二百八十四億六千一百万円の実績となりました。また、積立ぷらすはクロマグロ強度資源管理による下止めの段階的引下げの影響等により五億八千九百万円減少し、四十五億四千一百万円となりました。

令和８年度 ９月末　主な漁業の実績状況（速報）

１．さんま棒受網漁業　ぎょさい・積立ぷらす　加入実績

（単位：百万円）

地区	令和８年度		令和７年度		増減（R8-R7）	
	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額
室蘭	236	5	214	4	22	1
日高	330	7	311	7	19	0
釧路	1,039	21	1,128	24	△89	△3
根室	2,691	58	2,763	60	△72	△2
合計	**4,296**	**91**	**4,416**	**95**	**△120**	**△4**

２．秋さけ定置漁業　ぎょさい・積立ぷらす　加入実績

（単位：百万円）

地区	令和８年度		令和７年度		増減（R8-R7）	
	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額
小樽	1,394	136	1,631	131	△237	5
桧山	195	17	250	24	△55	△7
函館	402	154	425	150	△23	4
室蘭	835	231	978	267	△143	△36
日高	1,703	481	1,870	565	△167	△84
釧路	1,497	390	1,772	467	△275	△77
根室	4,975	1,112	5,438	1,323	△463	△211
北見	13,403	1,624	13,829	1,783	△426	△159
稚内	3,680	319	3,827	350	△147	△31
留萌	377	77	438	70	△61	7
合計	**28,461**	**4,541**	**30,458**	**5,130**	**△1,997**	**△589**

【ほたて貝等養殖業】

近年の価格高の影響等による補償水準（共済限度額）の上昇に加え、小樽地区の小樽市漁協、北見地区の網走漁協で新規加入、各地区で契約割合の引上げが図られたことにより、全道合計ではぎょさいで前年度より二十億五千七百万円増加し、百六十九億九千八百万円、積立ぷらすは一億一千五百万円増の七億二千五百万円の実績となりました。

【漁業施設（秋さけ定置漁具）】

小樽地区の小樽市漁協で新規加入がありましたが、各地区での引受現有率の低下による共済価額の減少や休漁等があったことにより、全道合計では前年度より件数で十件、共済金額で一億一千三百万円減少し、二百九十一件、四十四億二千万円の実績となりました。

3．ほたて貝等養殖業　ぎょさい・積立ぷらす　加入実績

（単位：百万円）

地区	令和８年度		令和７年度		増減（R8-R7）	
	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額
小樽	542	30	205	10	337	20
函館	14,252	538	13,075	493	1,177	45
室蘭	1,139	97	945	80	194	17
北見	1,065	60	716	27	349	33
合計	**16,998**	**725**	**14,941**	**610**	**2,057**	**115**

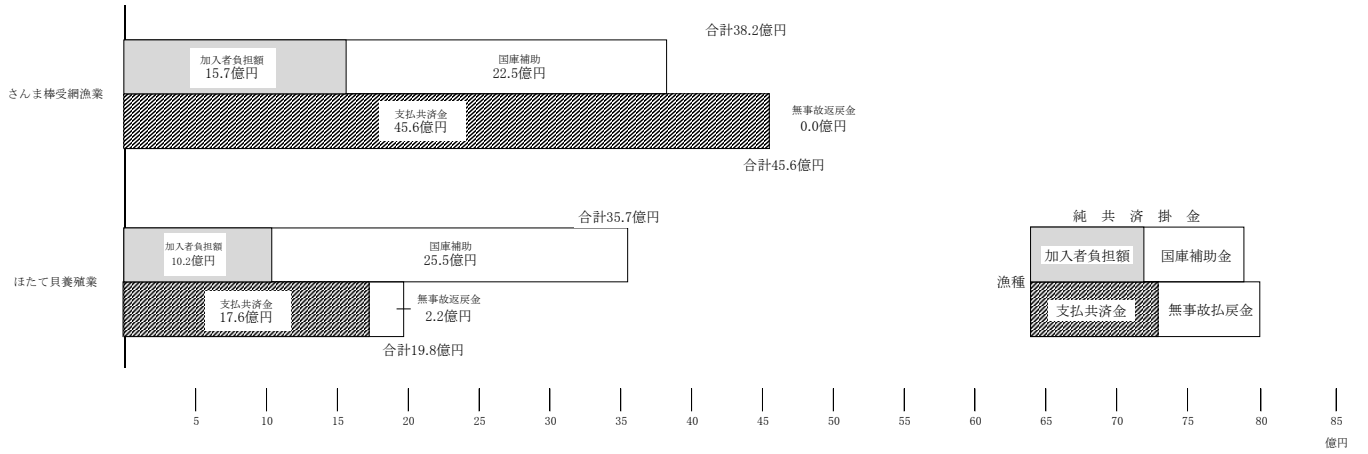
4．漁業施設（秋さけ定置漁具）ぎょさい加入実績

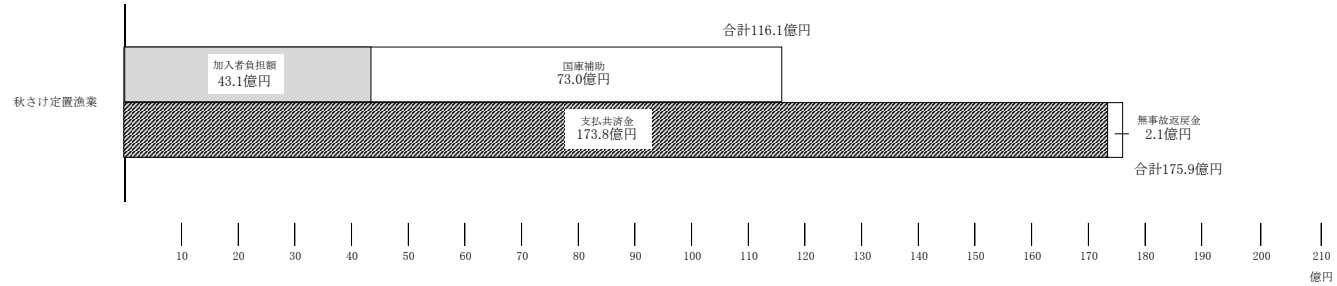
（単位：百万円）

地区	令和８年度		令和７年度		増減（R8-R7）	
	件数	共済金額	件数	共済金額	件数	共済金額
小樽	36	260	39	296	△3	△36
桧山	2	18	2	18	0	0
函館	0	0	0	0	0	0
室蘭	10	121	9	104	1	17
日高	20	319	20	318	0	1
釧路	46	750	52	862	△6	△112
根室	38	474	40	502	△2	△28
北見	133	2,431	133	2,387	0	44
稚内	2	14	2	13	0	1
留萌	4	33	4	33	0	0
合計	**291**	**4,420**	**301**	**4,533**	**△10**	**△113**



５．上半期引受 太宗漁業・養殖業の共済収支（令和３年度から令和７年度までの直近５か年累計）







下半期には、すけとうだら刺し網漁業、こんぶ養殖業、ほたて貝桁網漁業、こんぶをとる漁業、各種漁船漁業が加入時期を迎えますが、漁業経営の後ろ盾として、**ぎょさいと積立ぷらすとのセット加入**を引き続き推進して参りますので、宜しくお願い申し上げます。